

滋賀大学教育学部連続講座（高大連携事業）第2回を開催しました。

9月25日（日）教育学部において、県内の高校生（受講者90名）を対象とした連続講座「滋賀大学教育学部で何を学ぶか ―どんなことができるの？どんなことをしているの？―」第2回を開催しました。

本連続講座は、滋賀県教育委員会と本学教育学部との高大連携事業として8月から12月まで（10月を除く。）月一回のペースで4回にわたって開催するもので、今回は渡邊慶子先生（数学教育学）が「算数教科書の中に潜む数学」と題して講座を実施しました。

講義では、「4つの4」を課題に「数学の〈自由性〉」と「数とは何か」を、続いて「カードづくり」を課題に「〈人工物〉としての数学」と「素数・合成数」を、最後に「三角形の面積」を課題に「図形とは何か」についての講義が行われました。



（講義をする渡邊先生）



（講義の様子）